

こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2021年6月①号

京都市聚楽保育所(中京区)廃止の条例が可決 共産党は反対。自民、公明、民主は廃止に賛成

6月1日の京都市会本会議で、保護者や地域に説明もなく今議会に突如、提案された京都市聚楽保育所が自民、公明、民主、無所属の賛成多数で可決されました。日本維新の会や京都党の会派は共産党と一緒に反対しましたが、39：26で負けてしまいほんとに残念でした。

5月11日に京都市長が廃止の提案をしてから、保護者や保育関係者、労働組合の皆さんが、議会に慎重な審議を求める陳情を提出して下さったり、各会派の議員に働きかけたり、署名活動、Web集会、委員会室までのスタンディングアピールを実施したり、短期間に運動されたことは、貴重な運動でした。それだけに、議会の総意として、慎重な審議をしようということにならなかったのが、ほんとに悔しいです。

今後、入所の募集を停止し、毎年、年長児童が、卒所していき、6年後に現在0歳の子どもさんが1人が卒所したら、廃止することになっています。集団保育の意義も何も全く無視をしたやり方に、このまま、黙って認めるわけにはいかないと考えています。



議論の中で明らかになったのは、京都市の行財政改革(リストラ改革)のもと、大切な公的な施設(保育所)を処分し、公的な役割を後退させる京都市の姿勢が問題です。

廃止を撤回させる取り組みを引き続きやっていきたいと思っています。ご支援をよろしくお願いいたします。

街角演説会 こくた恵二衆議院議員が訴え

新型コロナウイルス感染の拡大がなかなか落ち着かない状況の中、屋内会場での演説会がやりにくいため、北区内の街頭から訴えを3ヶ所で行いました。こくた衆議院議員からは、コロナ禍で東京オリンピック・パラリンピックを開催することの問題を、国会での議論も踏まえて、開催のために、ひっ迫する医療現場をさらに深刻化させること、選手にとってもフェアな大会にならないことなどわかりやすくお話ししました。



左から玉本市議、こくた恵二衆議院議員、井坂市議、浜田府議

つぶやき：市長の謝罪

市長はコロナワクチン接種を実施している医療機関800ヶ所について、「現在で病院名を公表しているのが62ヶ所なのを6月1日には800ヶ所全部の施設名を公表します」と記者発表及び5月21日の市会本会議で明言しました。しかし、病院の承諾を得てからの発言ではなく、医師会で問い合わせをすると、「公表しない」という返答も多く、市長は6月1日の本会議で、「公表の方針」を撤回し、謝罪しました。まったくもって、お騒がせと言わざるを得ません。市長は、医療現場の実態や要望をしっかりと聞くべきです。市長の役割はコロナウイルス感染対策の担当職員を信頼し、働きやすい環境と人員を配置することに責任を持つことが大事だと思います。

コロナワクチン接種

アンテナ

今、一番の話題は「コロナワクチンの予約取れた？」地域の開業医の先生で1回目したよ」などの会話です。京都府はかかりつけ医でのワクチン接種をすすめています。かかりつけ医がない方のために「集団接種会場」での接種をすることにしました。しかし、かかりつけ医がワクチン接種を実施していない場合もありますし、特に病気などがなく、かかりつけ医がおられない方もあります。集団接種会場の予約が殺到し、電話がつながらず、市民から苦情の電話が多く寄せられ、5月31日は登録制として、後から、接種日と時間などを電話で知らせがあるという方法に変わりました。試行錯誤は仕方ないにしても、あまりにも接種会場の受け皿が少ないのが問題です。私は市会議員団を代表して、本会議で課題と提案を示し、討論しました。



北区の集団接種会場は元北消防署です。

